

第91号

contents

- 令和8年第2回定例会開かれるP. 2
- 審議結果P. 3
- 委員会活動P. 4
- 12人が一般質問に立つP. 8
- 議員表彰、議員活動日誌、議員研修、
議会開会のお知らせ、意見募集P.13
- 特集P.14

本巣市 議会だより

溶融炉
(ごみ焼却施設)

ゆ〜みんぐ
(温水プール)

最終処分場

じんかいしゃ
塵芥車
(ごみ収集車)

表紙は西濃環境整備組合の
施設写真だも。
最終ページで特集してるも。



本巣市議会だよりは議会ホームページ
からご覧いただけます。



行政情報アプリ「マチイロ」
スマホやタブレットにアプリで
議会だよりをお届けします。



令和8年第2回定例会開かれる

6月4日～6月26日、令和8年第2回定例会を開き、条例改正3件、人事案件1件、補正予算1件、その他3件について審議・決定しました。

◎令和8年度一般会計補正予算

○一般会計補正予算(第1号)………1,174万円を増額し、総額193億2,174万円

主な歳入

●国庫負担金

◇生活扶助基準改定に関する最高裁判決による生活保護費の追加給付事務費に対する負担金の増額
……………546万円

●国庫補助金

◇支払通知電子化及び多言語通訳システム導入事業に対する交付金の新規計上
……………108万円

◇生活扶助基準改定に関する最高裁判決による生活保護費の追加給付事務費に対する補助金の増額
……………46万円

●県補助金

◇生産強化及び地球温暖化等の適応に必要な設備の導入等に対する補助金の増額
……………269万円

主な歳出

●総務費

◇ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによる寄附額確定に伴う増額
……………212万円

●民生費

◇生活扶助基準改定に関する最高裁判決による生活保護費の追加給付に伴う「生活保護扶助費」の増額
……………729万円

●教育費

◇熱中症対策として、冷却グッズを効果的に使用できる専用冷凍庫導入に伴う施設用備品の増額
……………369万円

◇区域外から根尾学園に通学する生徒の定期代を補助するための「通学補助金」の増額
……………79万円

◎繰越計算書の報告

○令和7年度本巣市一般会計繰越明許費繰越計算書について

「議案第31号 令和8年度本巣市一般会計補正予算(第1号)について」の 討論内容

一般会計補正予算に対して行われた討論の一部をご紹介します

反対

暑さ対策としての予算措置など評価すべき点もありますが、未だに建物が残る不透明な道路建設や、農道舗装工事が今回も含まれていない点を問題視しています。
行政の独断的な予算変更は容認できないため、補正予算に反対します。

賛成

反対意見は承知していますが、行政は説明責任を果たし、民主的な議論がなされていると理解しています。
懸念事項が整理されれば、しかるべき予算が早期に計上されると期待し、補正予算案に賛成します。

※討論・採決の結果、この議案は可決となりました。



農業委員会とは（議案第30号の用語解説）

農業委員会とは農地の利用に関する管理や調整を行う役割を持っています。地域の農地を守り、農業の発展を支えるために重要な役割を担う組織です。農地の適切な利用や農業環境の維持・改善のために活動しています。

議案および審議結果等

令和8年第2回定例会（全会一致で可決・認定された議案）				
	議案番号	議案名	付託委員会	議案の概要
市長提出議案	報告第5号	専決処分の承認を求めることについて（本本市税条例の一部を改正する条例）		地方税法等の一部を改正する法律（令和8年法律第2号）の公布に伴い、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、これを議会に報告し承認を求めるもの
	報告第6号	専決処分の承認を求めることについて（本本市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）		地方税法施行令等の一部を改正する政令（令和8年政令第83号）の公布に伴い、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、これを議会に報告し承認を求めるもの
	報告第7号	令和7年度本本市一般会計繰越明許費繰越計算書について		令和8年度に繰り越して使用する繰越明許費について報告するもの
	議案第32号	本本市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について		非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令の施行に伴い、葬祭補償の額を改定するもの
	議案第34号	土地の取得について（北屋井地区企業用地）		売買契約を締結するにあたり、契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求めるもの

【表示記号】 「○」…賛成 「×」…反対 「―」…欠席・除斥等による不参加

令和8年第2回定例会																			
議員名（議席番号順）			付託委員会	議決結果	坂下 裕久	堀田 靖則	翠 昭博	高橋 知子	瀬川 照子	飯尾 龍也	片岡 孝一	高橋 時男	澤村 均	高橋 勇樹	今枝 和子	高田 浩規	河村 志信	鏑本 規之	白井 悦子
議案番号・議案名及び議案の概要																			
市長提出議案	議案第30号	本本市農業委員会委員の任命について（青山 正生氏） 農業委員会の委員の任期が満了となることから、農業委員会の委員を任命することについて議会の同意を求めるもの		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（小野島 英明氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（若原 道治氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（浅井 三津雄氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（吉村 正男氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（柿沼 美恵氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（石川 章氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（中村 誠基氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（田中 浩範氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（山本 茂樹氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（鷺見 英憲氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（高田 禮子氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（高橋 秀和氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	×	○
		本本市農業委員会委員の任命について（林 和代氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（山田 智之氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（翠 孝治氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（山田 豊樹氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（後藤 克幸氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
		本本市農業委員会委員の任命について（堀口 一平氏）		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
	議案第31号	令和8年度本本市一般会計補正予算（第1号）について 1,174万円を増額し、今年度総額193億2,174万円（生活保護扶助費追加給付事業等によるもの）	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	×	○
	議案第33号	工事請負契約の締結について（本本市防災行政無線同報系システム設備子局更新工事） 工事請負契約を締結するにあたり、契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求めるもの		可決	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

付託委員会欄の「総」は総務建設委員会、「文」は文教福祉委員会、「予」は予算決算委員会への付託を表します。

委員会活動

Q：根尾学園の前期課程（1～6年生）の児童が
樽見鉄道で通学する場合、補助金はない
のか

A：現在の実綱では、補助の対象は中学校および義務教育学校の後期課程（7～9年生）に
限定されてます。

【健康福祉部関係】

・生活保護扶助費追加給付事業 729万円
生活扶助基準改定に関する最高裁判決による
生活保護費の追加給付

Q：過去に受給していた市外居住者に対し、お知
らせなどの案内は発送するのか

A：個人情報観点から、直接案内を出すとは現在の
世帯員に受給歴が知られる恐れがあるた
め、市のホームページや広報での案内に留め
る方針です。

【総務部関係】

・消防用備品について 12万円

Q：各分団からの備品要望に対し、十分な対応が
できているか

A：平時の活動に必要な備品については要望を
聞いて整備してます。大型の消防車や動力ポ
ンプも必要に応じて随時更新してます。

【企画部関係】

・新たな地場産品創出等推進事業 212万円
ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディ
ングによる寄附額確定によるもの

Q：市内で新規に起業する人でも、この制度を利用
できるのか

A：利用可能ですが、事前に返礼品となるものを
登録する必要があります。勉強会などを通じ
て周知を図ってます。

Q：補助金が「完成払い」のため、小規模事業者
は先行投資が困難ではないか

A：寄付金の透明性や事業継続の観点から現在は
完成払いを基本としてますが、前払いの必
要性についての声は認識してます。

予算決算委員会

議長を除く15名

主な質疑の内容

○令和8年度本巣市一般会計補正予算(第1号)について

【教育委員会関係】

・小・義務教育学校冷凍庫導入事業 369万円
熱中症対策として、下校時にも冷却グッズを効
果的に使用できるようにするための専用冷凍庫
導入

Q：冷凍庫導入の今後のスケジュールはどうなっ
ているか

A：予算確定後、速やかに購入手続きを進めま
す。7月中の導入を目指してますが、現在製品
の流通が厳しいため、可能な限り低学年から
優先的に入れるなど調整して進めます。

Q：保護者の意見を汲んで予算化したという経
緯を、保護者へもしっかり伝えてはどうか

A：市PTA連合会の会議や校長会などを通じ、
保護者の意見を反映した施策であることを
積極的に伝えていきます。

Q：オフシーズンに教室に置くと邪魔になるの
ではないか

A：それほど大きなサイズではないですが、設置場
所については各学校と検討中です。必要のない
時期は移動させることも含め確認します。

Q：緊急の熱中症対策として、国の補助金などは
活用できなかったのか

A：猛暑への緊急対応が必要であったため、今回
は予備費等を活用して動いたものです。今後
については様々な補助金の活用を検討して
いきます。

・通学補助金について 79万円
区域外から根尾学園に通学する生徒の定期代
を補助

Q：制度を知らない保護者もいると思われるが、
周知はいつどのように行っているか

A：市のホームページに記載しているほか、入学
や転校の際に、対象となる生徒の保護者へ
は学校や担当者から直接申請用紙を渡すな
どして伝えてます。

Q：観光客の満足度や実態調査はどのように行っているのか

A：QRコードを用いたアンケートや、近隣にある芸術文化観光専門職大学の学生によるフィールドワーク、ゼミ活動を通じた詳細な調査など、様々なチャンネルを利用してデータを収集しています。



▲情報館「天空の城」を視察する委員



▲座学にて質疑する委員

主な質疑の内容

○兵庫県養父市視察(2日目)

①ライドシェア(やぶくる)と②デマンド交通実証実験の成果と課題、今後について

【質疑応答】

Q：子どもたちの利用は

A：第3回の実験では、関宮(せきのみや)学園の児童・生徒に登下校の足として提供し、20名ほどの利用がありました。少子化で大きなバスの必要がなくなる中、デマンド交通は有効だと考えてます。



- ①ライドシェアとは、一般の人が自分の自家用車を使って、有料で利用者を目的地まで送迎するサービスのこと
- ②デマンド交通とは、利用者の需要に応じて運行される乗り合いの公共交通サービスのこと

行政視察 全議員

主な質疑の内容

○兵庫県朝来市視察(1日目)

観光資源(竹田城跡、生野銀山)を活用したまちづくりと市の運営方法について

【質疑応答】

Q：竹田城跡が有名になったきっかけは

A：平成24年から25年頃、長年撮影を続けたアマチュアカメラマンの方の、雲海に浮かぶ石垣の「天空の城」の写真が朝日新聞の元旦版に掲載されたことが最大のきっかけです。

Q：「活動人口」とは具体的に何なのか

A：関係人口を一步踏み込んだものとして、例えば東京大学の研究員が常駐してオオサンショウウオの研究を行うなど、特定の活動を目的として滞在・交流する人々を指しています。

Q：観光協会と行政の役割分担は

A：観光協会をDMO(あさごツーリズムビューロー)として法人化し、市が大きな方針や企画を決め、実際の事業実施や仕組み作りを協会が担うという分担をしています。運営費(人件費)については、市から95%の補助金を出す形をとっています。

Q：観光客1人当たりの消費単価は

A：宿泊なしの場合で約2,590円、市内に宿泊される場合で約16,900円となっています。これをいかに上げていくかが課題です。

Q：ドラマ放送に合わせたプロモーションは

A：NHKの公表前は厳格に情報制限されてましたが、その裏で近隣の市町(養父市、豊岡市など)と連携して「秀長ゆかりの地」を巡るパンフレットを作成し、大手旅行会社へトップセールスをかけるなどの地道な営業活動を事前に行っていました。

Q：空き家を活用した宿泊施設への補助制度はあるのか

A：経済振興部門において、空き家活用のためのリフォーム補助金(最大100万円)や、事業を興すための雇用創出補助金(最大200万円)などの支援制度を設けており、年間5件程度の相談が寄せられています。

総務建設委員会協議会

◎澤村 ○片岡 白井 鏑本 今枝 飯尾 翠 堀田

主な質疑の内容

○本巣市のごみ処理状況について

令和6年度の実績として約8,110t、金額にして1億9,782万円の負担金を拠出しています。

Q：廃棄物再生利用対策費として計上されている92万6,000円の具体的な内容は

A：生ゴミ処理機の購入補助金と、資源ゴミの集団回収に対する回収協力金の補助金です。

Q：ゴミ袋とシールの作成代が1,400万円強と高額であるが内訳は

A：令和6年度の作成枚数は、可燃ゴミ袋（大・中・小）が約93万枚、粗大ゴミ袋が9,000枚、粗大ゴミ収集シールが2万4,000枚です。これらは中国で生産されており、入札の結果、予定価格の約87%の価格で落札されています。

Q：粗大ゴミのシールが前年度より1万2,000枚も増えている原因は

A：毎年の予算計上時に年間の使用予定枚数を設定していますが、前年度の在庫状況に合わせて補充するため、その調整による誤差の範囲内であると考えてます。

現地視察

○西濃環境整備組合

本巣市を含む3市7町によって構成され、地域から発生する一般廃棄物の処理を行う組合です。



▲西濃環境整備組合を視察する委員

Q：タクシーの台数への影響や、売上の変化は

A：タクシーの台数は1社10台以下かと思えます。元々タクシーが行かないエリアですので、売上が落ちたという話は聞いておらず、スポット運行の手数料などで逆にタクシー会社にもメリットが出てます。

Q：住民への説明回数とその反応は

A：4地区で2回ずつ説明会を回ってます。最初は「路線バスがなくなる（日中の減便）」ことへの強い抵抗がありましたが、何度も足を運び、誠心誠意話し合うことで徐々に理解が浸透してきました。

Q：ライドシェアの運転手が20名から6名に減ってしまった理由と今後の確保、また過去10年間の事故やトラブルの状況は

A：事故については開始以来、人身事故はゼロです。ドライバー登録には国交省指定の講習や実習が必要で、高い安全意識を持っています。また任意保険に加え、NPOでもバックアップ保険に加入しています。不足の理由は、お小遣い稼ぎにもあまりならず、いつ注文が来るか分からない拘束感からプライベートの自由が効かないことが大きいです。

Q：市役所職員をドライバーとして活用する考えは

A：過去に検討もありましたが、この事業の趣旨は「地域住民の活躍の場」を作ることですので、職員が代わってやってしまうのは地域振興の観点から見合わせている状況です。



▲座学にて質疑する委員

じゅうき
Q: まだ活用できる什器の譲渡は現時点でどの程度進んでいるのか

A: 幼稚園、小中学校、放課後児童クラブへの受け渡しは完了しており、現在は市内の各施設へ案内を行っています。

Q: 移転に伴い仕事量が増えているが、人員の補充などは今後行われるのか

A: 今のところ補充は考えてませんが、施設が広くなったことや運用開始直後であることを踏まえ、利用者の意見を聞きながら検討します。

Q: 従来の図書室とは趣旨を変え、飲食ができるような場所を検討できないか

A: 待合ホールの有効活用を検討材料としていと考えます。

Q: 研修室などの部屋は涼しいが、広い廊下などは空調がなく暑い、今後の対応はどうなるのか

A: 既存の空調の更新を進めてます。待合ホール等の空調については、現時点では改修計画にはありませんが、今後の利用状況や意見を聞きながら検討の必要性を考えていきます。

Q: いきいきホールの管理体制は従来と変わるのか

A: 全ての施設を公民館で管理することになり、運用は今まで通りとなります。

現地視察

○本巣市障がい者就労支援センター 杉の子

自立した生活や社会生活を営むことができるよう、就労や生産活動、余暇活動を提供し、知識および能力向上のための必要な訓練を行います。



▲本巣市障がい者就労支援センター 杉の子を視察する委員



文教福祉委員会協議会

◎河村 ○高橋(知) 大西 高田 高橋(勇) 高橋(時) 瀬川 坂下

主な質疑の内容

○糸貫公民館の移転について

旧糸貫公民館は建物の老朽化が著しく維持管理が困難であったため、安全性の確保とコスト縮減を図るため「ぬくもりの里」へ移転しました。

Q: 9月からの図書室の運用開始と、周辺の子供たちが使えるような環境整備について具体的な目途はあるか

A: 図書室の事務局側に20席程度の学習室を整備中であり、Wi-Fiも完備します。糸貫中学校の生徒などが放課後に学習できる環境を整えていきたいと考えてます。

Q: 使わなくなった旧施設の今後の計画はどの程度決まっているのか

A: 現時点で取り壊しの見通しは立っていないが、機能が休止した状態のため、今後は財政部局へ普通財産として移管することを検討していきます。



◀ぬくもりの里1階 平面図

● 一般質問 ●

今定例会では12人の議員から一般質問がされました。
一般質問を行った議員と、その質問内容は以下のとおりです。

質問順番	議員氏名	質問内容
1	翠 昭博	1 <u>将来の東海環状自動車道の全線開通を見越した企業誘致に伴う用地確保に向けた取り組みについて</u> 2 <u>自転車通行空間確保に向けた取り組みについて</u> 3 <u>令和7年度末財政事情の公表について</u> 4 <u>ふるさと住民登録制度の構築について</u> 5 災害対策基本法等の一部改正について
2	高橋 知子	1 <u>今の子どもたちが求める学校について</u> 2 <u>もとまるパークの安全管理について</u> 3 <u>もとまるパークの指定管理料の透明性と還元について</u>
3	飯尾 龍也	1 下水道事業について 2 部活動の地域展開について 3 <u>本市の農業について</u>
4	片岡 孝一	1 <u>自治会の現状と自治会に対する支援について</u> 2 <u>人と人のつながりを大切に、持続可能なまちづくりについて</u> 3 市民の安全確保 について
5	高橋 時男	1 <u>防災会議における女性委員について</u> 2 <u>インターンシップ(職場体験)型採用試験の導入について</u>
6	澤村 均	1 <u>市の遊休施設の財産処分について</u> 2 <u>観光資源について</u> 3 もとまるパーク周辺の安全対策について 4 <u>緊急通報体制支援事業について</u>
7	高橋 勇樹	1 生成AIの活用について 2 <u>教育環境の暑さ対策について</u>
8	高田 浩視	1 <u>重層的支援体制の現状について</u> 2 <u>SNSの活用による市政の活性化について</u> 3 DX推進の進捗について
9	河村 志信	1 本市における公共交通の今後のあり方について 2 本市におけるバス等による送迎の実態について 3 <u>本市の新たな観光資源としての席田用水について</u> 4 <u>夏場の通学時における熱中症対策について</u>
10	鏑本 規之	1 <u>10年後を見据えた持続可能なまちづくりについて</u>
11	坂下 裕久	1 <u>本市における熊の出没対策について</u> 2 <u>所有者不明森林の森林管理について</u>
12	堀田 靖則	1 中東情勢の影響について 2 <u>エネルギー関係について</u> 3 <u>令和8年度予算について</u> 4 <u>アーバンスポーツを核とした街づくりについて</u> 5 ① <u>PFASについて</u>



①PFAS（ピーファス）とは、水や油を弾く、熱に強いなどの非常に便利な性質を持つ「有機フッ素化合物」の総称です。
特に代表的な物質がPFOSとPFOAで、残留性や蓄積性が高く、発がん性や免疫力の低下などとの関連が指摘されています。

※太字・下線の項目は、各議員の一般質問記事にて掲載のある項目です。



Q&A 12人が一般質問に立つ



翠 昭博

Q 東海環状自動車道の全線開通を見越した企業誘致に伴う用地確保について

A1Q1 現在の進捗とその計画は
A3 3地区において進めており本県IC周辺に新たな産業誘致地区の設定を進めています

瀬川・産業経済部長

A2Q2 用地関係者への手続きは
新たな産業誘導地区を検討する際に土地所有者や地域の皆様へ丁寧に説明をします

Q 自転車通行空間確保について

Q1 自転車車が車道を通行する空間確保について計画はあるか

A1 現時点では自転車車が車道を通行するための道路空間を確保する計画はありません

加藤・都市建設部長

Q 令和7年度末財政事情の公表について

Q1 教育投資額を市民に対して具体的に説明する必要があるのではないかと

A1 学校・幼児・社会教育、学校給食等でのその用途の理解を得る事は重要です

高木・教育委員会事務局長

Q ふるさと住民登録制度の構築について

Q1 関係人口の可視化、地域の担い手確保等。関係人口施策への取り組み等導入の考えは新たな担い手の確保につながる重要な取り組みであると認識しています

この制度導入に向け、有効性や本市との適合性について、多角的に検討を進めています。

林・企画部長



高橋知子

Q 今の子どもたちが求める学校について

Q1 市内小中学校を選択する上で通学区域外の学校のことも知る機会をつくっては

A1 授業公開や学校説明会を通学区域外にも開放、各学校のリーフレット作成、配布

川治・教育長

Q2 小規模校で国が定める教科の枠を超えて本県独自の授業編成を行っているかどうか

A2 国に先駆けて、本年度よりすべての学校で独自の特色ある教育課程編成を実践中

Q3 主体的な学びを進め、かつ教職員負担軽減のため「AIドリル」を導入しては

A3 自動採点機能付AIドリルを導入準備中

Q もとまるパークの安全管理について

Q1 器物損壊や迷惑行為に声かけ以上の対応（警察と連携や監視カメラ設置等）は

A1 指定管理者や警察と連携し、具体的かつ毅然とした対応で安心安全な環境を確保

加藤・都市建設部長

利用者からの通報や監視カメラの遠隔監視や施設巡回で確認次第、注意や警察通報。

Q2 中学生の放課後の居場所

A2 系貴公民館に新しく学習スペース設置、子どもセンターで乳幼児親子と交流等

高木・教育委員会事務局長

Q もとまるパーク周辺の事業開発調査結果と今後の計画は

A 調査をもとに民間活力を導入し東に道の駅が核の多様な観光交流施設を整備

加藤・都市建設部長



飯尾龍也

Q 本県市の農業について

A1Q1 神海地区の基盤整備事業の進捗状況は
A1 7年度から圃場整備事業を開始し、8年度は事業計画の策定業務を発注しています

瀬川・産業経済部長

令和9年度の採択に向けて取り組んでいます。

対象筆数は合計298筆であり、これに関係する地権者数は60名です。標準的な区画割りとして5500㎡を想定しており、令和14年度末を完成目標とし、圃場の区画整理や用排水施設の整備工事、そして不整形な農地や分散した農地を効率的な耕作に適した形状や配置に再編し、所有権や利用権を調整する手続きである換地などの諸手続きを全て完了する予定です。

A2Q2 担い手あるいは、他地域からの参入状況は
A2 本県北部地域の参入経営体はなく、根尾地域は1経営体にとどまっています

農業経営基盤強化促進法に基づき、将来の農業利用と担い手を明確にするために策定した「地域計画」に位置付けられた担い手の状況は、本県北部地域では9経営体、根尾地域では25経営体が位置付けられていますが、市内でも極めて高い水準で高齢化が進行しています。

※他にも「下水道事業について」「部活動の地域展開について」を質問しました。



用語解説

①圃場とは作物を栽培する場所や土地を示し、主に農地のこと

一般質問



片岡孝一

◎自治会の現状と自治会に対する支援について

少子高齢化が進み、コロナ禍の影響もあり、地域交流が減少する中、地域を守り、助け合える本巣市としていくために。

Q1 高齢化と役員のなり手不足が深刻化する中、担い手確保の取り組みと支援は

A1 役員の業務内容をマニュアル化し、時期ごとの業務や必要な手続きを明確化

林・総務部長

ライフスタイルや価値観の多様化により役員の担い手不足は全国的な課題です。自治会長や市のHPを通じて、先進的な取り組み事例の周知を図り、持続可能な自治会活動が促進されるよう支援します。

◎人と人のつながりを大切にし、持続可能なまちづくりについて

助け合い、住みやすい福祉のまち本巣市を築いていくために。

Q1 認知症の早期発見とMCI（軽度認知障害）対策は

A1 切れ目のない相談支援体制を充実させ、認知症の早期発見・対策につなげます

磯部・健康福祉部長

認知症予防、軽度認知障害等に対する適切な支援を行う相談窓口として、福祉総合相談室内の地域包括支援センターが、高齢者の総合的な相談窓口となり、必要に応じて医療機関や他の支援機関と連携します。



高橋時男
(本巣自由の会)

◎防災会議における女性委員について

Q1 現在の防災会議の委員構成、人員は

A1 本年3月時点で、男性22名、女性2名で関係機関の代表者のほとんどが男性です

林・総務部長

本曾川上流河川事務所、岐阜県、北方警察署、本巣消防署等関係行政機関、電力、通信、鉄道事業者等公共機関、医師会、歯科医師会等災害応援協定締結団体、消防団、市役所の関係部局長で構成しています。

Q2 現行の「避難所運営マニュアル」等を見直す考えは

A2 定期的な見直しを行い、女性が主体的に参加できる環境整備に努めます

◎インターンシップ（職場体験）型採用試験の導入について

Q1 エントリー数および採用人数の推移と課題は

A1 採用人数は、令和5年度10名、令和6年度5名、令和7年度6名です

林・企画部長

新卒採用のエントリー数は、令和5年度84名、令和6年度124名、令和7年度48名で、新卒者の確保が依然として大きな課題と認識しています。

Q2 インターンシップ型採用試験導入についての見解は

A2 優秀な人材の確保に向け、より広範な視点から採用活動のあり方を検討します



澤村均
(日本共産党)

◎市の有休施設の財産処分について

Q1 売却を入札で行う場合の審査基準は

A1 公平性、透明性を確保し最大の利益の確保を基本としています

林・総務部長

入札参加者資格は市の普通財産の一般競争入札実施要領第3条各号で定めています。

Q2 設定金額の基準は誰が決めるのか

A2 不動産鑑定士の鑑定評価を基に様々な事項を総合的に考慮し市が決めてます

Q3 土地や建物の評価、解体費用の評価、見積業者の数は

A3 土地等は鑑定評価を、解体は実績のある業者1社もしくは複数社で対応してます

◎観光資源について

Q1 ほたる祭りについて、これまでの開催と観光客数の把握は

A1 平成17年に糸貫町で第1回が開催、令和5年に最後の祭りが開催され5千人来場

瀬川・産業経済部長

Q2 今後のホタルの保護活動のPR活動は

A2 「どろんどろん探検隊」と連携しゲンジボタルの生息生態保護活動の保全に努めます

◎緊急通報体制支援事業について

Q1 親族のいない方の対応は

A1 ご近所の方や自治会長、民生委員、介護事業者等の協力で連絡体制を確保します

磯部・健康福祉部長

※他にも「もともとるパーク周辺の安全対策について」を質問しました。

一般質問



高橋勇樹

◎教育環境の暑さ対策について

近年の災害級の猛暑は、荷物の軽量化だけでは防げません。本県市には片道2km（小学1年生で約50分）を歩く児童も多く、35度超の炎天下での長時間歩行は熱中症の重大なリスクであり、安全確保が急務です。

スクールバスと市営交通の併用といった移動手段の拡充や、通学路におけるクーリングシェルターの設置など、次なるフェーズの暑さ対策についてどのような検討がなされているでしょうか。

酷暑による幼児の活動制限を打開するため、直射日光を遮る大型サンシェードを、園庭とプールへ同時に設置することを求めます。

Q1 今年度の小中学生の登校時の暑さ対策はすべての小学校にネッククーラーを冷却するための冷凍庫を整備します

高木・教育委員会事務局局長

今後はこれまでの取り組みの効果を検討しつつ、より実効性の高い暑さ対策について検討を進めます。

Q2 幼児園園庭およびプール（幼小中）への暑さ対策は

A2 大型サンシェードについては調査研究を行っています

※他にも「教育環境の暑さ対策について」は2点、「生成AIの活用について」は5点質問しました。



高田浩視
（本県自由の会）

◎重層的支援体制の現状について

Q1 相談支援、継続的支援の現状は

A1 「福祉総合相談室」で分野横断的な連携のもと相談支援を実施しています

磯部・健康福祉部長

令和7年度相談実績は延べ6157件、アウトリーチによる訪問相談は1039件です。訪問相談に至るケースは、関係機関等の日常的な連携や相談支援の過程での把握に加え、家族や地域住民からの相談等もあり、継続的に寄り添った支援を行っています。

Q2 前例のない課題に対する支援体制は

A2 医療・介護・教育機関・地域住民・NPO等との連携を一層強化します

◎SNS活用による市政活性化について

Q1 SNS情報発信の目的とその効果は

A1 伝わる広報を目指し、SNSを活用し地域の魅力や話題などを発信しています

林・企画部長

SNSで市民の関心高めHPや広報紙へ誘導し詳細な情報を提供しています。

Q2 双方向のコミュニケーション活用の現状は

A2 市民から寄せられる反応や意見を把握するツールの一つとして活用しています

Q3 市長始め職員による直接的な施策の情報発信がより効果的ではないか

A3 有効な手段の一つとして捉えています

市政の重要な施策やイベントPR等効果的な発信に努めます。

※他にも「DX推進の進捗について」を質問しました。



河村志信

◎本市の新たな観光資源としての席田用水について

本県ICの開通により多くの方が本市を訪れるようになりました。ICの近くの船来山古墳群や席田用水は観光資源としても多くの可能性を秘めています。

Q1 席田用水の北部エリア4km区間について観光を目的とした取り組み計画はあるか

A1 新たな観光を目的とした整備は、伝統的農村空間を損うため計画してません

瀬川・産業経済部長

農林水産省の「疏水百選」にも選ばれ、岐阜県内でも2ヶ所しかなく、本市にとっても貴重な存在です。特に山口頭首工から糸貫境の乙井樋門までの区間は、自然の玉石で築かれた護岸と桜並木が美しい風景は農業遺産として特筆すべき魅力があります。

◎夏場の通学時の熱中症対策について

地球温暖化に伴い、夏場には40度近い猛暑になる日も多発しています。特に昼過ぎ14時ごろに帰宅する低学年の生徒たちは熱中症の危険にさらされています。

Q1 「子ども110番の家」などを活用したクーリングシェルターへの考えは

A1 席田小で導入し活用を進める一方、児童が暑さをしのぐ環境に有効と認識しています

高木・教育委員会事務局局長

「子ども110番の家」のクーリングシェルターとしての活用は、今後受入れ体制などを踏まえながら、慎重に検討していきます。

●一般質問●



鏑本規之

◎10年後を見据えた持続可能なまちづくりについて

人口減少・少子高齢化に対応し、東海環状道開通を踏まえ、今後10年間のまちづくりビジョンと計画を明確にすべきです。

Q1「都市計画マスタープラン」の改定方針は
A1 今後の方向性を決定づける大きく4つの改定方針を掲げ、見直しを進めます

加藤・都市建設部長

効率化、土地利用の実効性向上、都市機能の強化、立地適正化計画と連携したコンパクトシティの実現を目指します。

Q2「セントラルゾーン形成」と「本巣PA周辺のまちづくり」の推進と展望は

A2 持続可能な中心市街地を目指し、観光・交流型道の駅を整備し集客を図ります

今後、市民の皆様の声を聴きながら、基本施設の機能や整備方針を固め、基本計画の策定を進めたいと考えてます。

Q3 本市の「まちづくりのビジョン」について、市長の考えは

A3 東海環状道開通を活かし、持続可能で活力ある本巣市を目指します

藤原・市長

セントラルゾーン形成、本巣PA周辺開発、本巣IC周辺企業誘致を主要事業とし、持続可能なまちを目指します。議論段階である構想を実現させるためにも地元の方々にお話をしながら取り組んでいきます。



坂下裕久

◎本市における熊の出没対策について

県内での熊の目撃が前年同期と比べて1.5倍と増えてます。市内でも9件の熊の目撃があります。

熊への対策は、制度や支援制度、踏み込むなら捕獲頭数についても、現場の実情に合わせ、対応・変化が必要だと思っています。

Q1 里山林整備事業において整備の済んだバッファゾーンに熊が出没した際の対応は
A1 熊が出没した場所に限り、熊対策として市がなんらかの支援を検討します

瀬川・産業経済部長

◎所有者不明森林の森林管理について

本市は森林面積が、東京ドーム69000個分に相当する森林都市です。適切な森林管理の迅速化のために、県と連携を図り、所有者不明森林の増加を食い止める対策が必要です。

Q1 本市における所有者不明森林の状況は
A1 令和2～7年度の対象地の個人所有者376人に
対し、不明者は75人で約20%です

瀬川・産業経済部長

Q2 団塊の世代が高齢化し、相続の増加が予測されるが、所有者不明森林への対策は
A2 実効性のある森林管理体制の構築を目指します

令和7年度森林経営管理法の一部改正により手続きをすることで行政が対応しやすい仕組みに変わりました。今後も意向確認の返送がない方へ相続手続きを促す通知をし、回答があれば林業事業体へ通知をします。



堀田靖則

◎エネルギー関係について

Q1 市としてバイオコークスの生産を後押しするようなことは考えているか

A1 本巣市として生産を後押しする具体的な計画はありません

瀬川・産業経済部長

◎令和8年度予算について

Q1 めくもりの里の冷暖房機整備予算は投資金額に見合うものか

A1 費用対効果について整理し、妥当性を改めて確認します

高木・教育委員会事務局長

◎アーバンスポーツを核とした街づくりについて

Q1 地域来交付金等を活用してアーバンスポーツを核とした街づくりの考えはないか
A1 アーバンスポーツに特化した施設の整備について計画はありません

高木・教育委員会事務局長

民間事業者等から具体的な提案があった場合は必要な協力や支援について検討します。

◎PFASについて

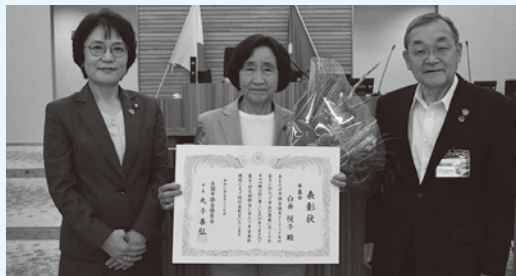
4月から水道水中のPFOS+PFOAの基準が改正されました。

Q1 市には複数の浄水場があるが、どのように分析するのか

A1 全10箇所の浄水場において水質基準52項目を所定の頻度で検査委託してます

青木・水道環境部長

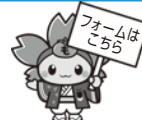
令和8年第2回定例会閉会后、臼井悦子議員に表彰状が伝達されました。



▲議員20年表彰を受けた臼井議員（写真中央）

議員活動日誌

日	日	場	議
に	に	所	名
ち	ち		等
5月12日(火)	各務原市	中濃十市議会議長会総会	
5月18日(月)	朝来市	予算決算委員会 行政視察	
5月19日(火)	養父市	予算決算委員会 行政視察	
5月27日(水)	都市 センターホテル	第102回全国市議会議長会	
5月28日(木)	本巣市役所	議会運営委員会	
6月4日(木)	本巣市役所	全員協議会 本会議(開会)	
6月8日(月)	本巣市役所	議会運営委員会	
6月16日(火)	本巣市役所	本会議(一般質問)	
6月17日(水)	本巣市役所	本会議(一般質問)	
6月19日(金)	本巣市役所	総務建設委員会協議会	
6月22日(月)	本巣市役所	文教福祉委員会協議会・予算決算委員会	
6月25日(木)	本巣市役所	議会運営委員会 全員協議会	
6月26日(金)	本巣市役所	本会議(閉会)	
7月1日(水)	本巣市役所	議会だより編集特別委員会	
7月7日(火)	本巣市役所	議会だより編集特別委員会	
7月15日(水)	本巣市役所	議会だより編集特別委員会	
7月24日(金)	中津川市	第296回岐阜県市議会議長会	
7月29日(水)	旧真正分庁舎	もとす広域連合 総務介護常任委員会協議会	
7月31日(金)	大和園	もとす広域連合 老人福祉常任委員会協議会	



本巢市のごみ処理費をみてみよう！



令和6年度の主なごみ処理費

総額

5億5,681万円

ごみの収集・運搬・中間処理・最終処分、施設の管理運営資源化推進などにかかる費用の総額です。

主なごみ処理費の内訳

内容	金額
①根尾廃棄物処理施設管理費	1,369万円
②本巢ストックヤード管理費	1,057万円
③真正ストックヤード管理費	2,973万円
④塵芥処理諸経費	2億9,836万円
(1)一般廃棄物ごみ収集委託料 1億9,572万円	(5)不法投棄処理委託料 22万円
(2)一般廃棄物ごみ処理委託料 6,177万円	(6)廃棄物再生利用対策 93万円
(3)空き容器回収機管理業務委託料 1,361万円	(7)ごみ袋・シール作成 1,459万円
(4)動物死体処理委託料 1,140万円	(8)ごみ分別促進アプリ運用事業 13万円
⑤西濃環境整備組合負担金事業	1億9,782万円

西濃環境整備組合の概要

西濃環境整備組合には西濃環境保全センターと室内温水プール「ゆ〜みんぐ」の2つの施設があり、根尾川と揖斐川の交わる三角州に位置しています。

大垣市（一部）、瑞穂市、本巢市、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町の3市7町によって構成され、それぞれの地域から発生する一般廃棄物の円滑なごみ処理を行っています。



搬入量と負担金の推移

年度別 分賦金

年度	組合全体	本巢市	
		分賦金	分担割合
R6	12億9,127万円	1億9,782万円	15.32%
R5	14億8,174万円	2億2,651万円	15.29%

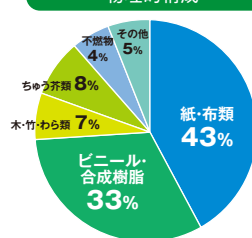
年度別 ごみの搬入量

年度	組合全体	本巢市			
		家庭系	粗大系	事業系	計
R6	50,307	3,792	470	3,848	8,110
R5	50,881	3,830	441	3,819	8,090

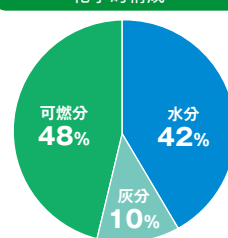
単位:t

令和6年度ごみ分析結果

物理的構成



化学的構成



リサイクルの重要性 捨てればごみ、分ければ資源

組合に搬入されているごみの中には有価物であるスチール缶、アルミ缶、紙類が混入しています。適切な所定に投入されると、高温のためスチール缶は酸化して鉄資源としての価値はなくなり、アルミ缶は溶けてしまします。



生ごみはもうひとしぼり！

可燃ごみの4割は生ごみで、その生ごみの約8割は水分です！水切りをするだけで燃料や処理費の削減につながります。ごみを出す前に、もうひとしぼりお願いします！資源などはなるべく乾燥させてもらえると助かります。



水分を
10%減らすと…

- ▶ 焼却効率が向上
- ▶ 処理に使う燃料が減少
- ▶ 処理費用の削減につながる！

今日からできる「もうひとしぼり」を、ぜひご家庭で実践しましょう！

温水プール「ゆ〜みんぐ」をご存知ですか？

屋内温水プール「ゆ〜みんぐ」は、ごみ処理で発生した余熱を利用した温水プールです。本巢市ではプール施設利用料を補助対象として回数券の一部助成をしています。毎年度、最初の回数券購入前に、運転免許証やマイナンバーカードなど申請者の住所および生年月日が分かる身分を証明するものをお持ちください。



議会だより
編集特別委員会

◎高橋知子 ○高橋勇樹 瀬川照司
翠 昭博 坂下裕久

